

邑(むら)の映画会実行委員会は、群馬県の「映像教育」の発展を目指し、世界で製作された多様な映画作品の上映やワークショップ活動を行っています。この会を通して、子どもたちが夢をふくらませ、映像文化によって心豊かな感性が育めることを願っています。



なまくら刀 (かたな)

1917年/日本/4分/35mm/デジタ
ル復元・最長版/白黒ボジ染色版
監督: 幸内純一 原版所蔵: 松本夏樹
なまくらやのぼんとうさんから、さむ
らいさんがこぼん4枚で刀をかうよう
すが、おもしろおかしくえがかれる。
さあ何かきて、とあんまさんに近づ
くが、くるくるで〜んととばされて…。
夏休みフィルムセンターで子どもた
ちが「これ、動きがおもしろい!」と選
んだ。今から100年も前にこのような
映像の発想があったことに驚かされ
る。発掘された2本のフィルムを合わ
せ、修復復元。現存するもっとも古い
アニメーション映画であり、内容の
完成度の高さは、言うまでもない。



動絵狐狸達引

(うこえ こりのたてひき)

1933年/日本/11分/35mm/白黒
監督: 大石郁雄
満月の夜。古寺にさむらいに化けたき
つねがやってくる。寺にすみつ子だめ
きは、さむらいにあれやこれやといた
ずらするが、さむらいは子だめきをさ
んざんじめる。とうちゃんたぬきに助
けをもとめるのだが…。ディズニー漫
画を見た若者たちが、日本の漫画映
画を作ろうと、取り組んだ時代にこの
作品は作られた。なにしろ歌舞伎、講
談、時代劇と西部劇をすべてとりこみ、
動きそのものを楽しめる高品質な映
画として注目を集めたが、監督は戦争
が始まり戦地へ行って、帰らなかった。



セロひきのゴーシュ

1963年/日本/19分/35mm/カラー
監督: 神保まつえ
ゴーシュは楽団で、セロをひく。音楽
会まであといく日もないのに、どうし
てもうまくひくことができない。「音
があていない!」「おくれる!」と毎
日しかられどおしのゴーシュは、帰
てからも、毎晩練習する。そこへ、ネ
コやカッコウ、タヌキやネズミがやっ
て来て…。音楽会で楽団は、ベートー
ヴェン交響曲第6番「田園」をみごと
に演奏する。学研が、今から70年ほ
ど前から、学校や、地域で、アートア
ニメーションとして映像教育を行っ
ていたこの代表作である。
《昭和36年度教育映画祭文部大臣賞》



花折り (はなおり)

1968年/日本/14分/16mm/カラー
監督: 川本喜八郎
和尚さんに留守中の花の守を言いわ
たされた小坊主さんは、花見にやっ
てきた大名とおつきの男のたくらみ
にまんまとひつかかってしまった。い
つしょうけんめいおきょうをとえま
もるのだが、お酒をのみすぎ花を折
り取られて…。おもしろおかしく人形
を動かすことで、みごとに狂生狂言の
楽しさと明るさを表現した。日本の文
楽や浄瑠璃などの要素を取り入れ、
世界に誇る人形アニメーションを製作
し続けた監督の第一回作品である。
《ママイヤ国際アニメーション映画祭
銀のペリカン賞》



鬼がくれ山のソバの花

1979年/日本/23分/35mm/カラー
監督: 岡本忠成
山から大声がひびきわたると村中
が「鬼がソバ食いに来る!」と大騒
ぎ。鬼は村人にソバを作らせたら
ぶく食って、村のソバ粉はなくなっ
た。「田の神さん 田の神さん どう
か山からおくだりなされて 田の神
さん 今年の米をばお与え下され
田の神さん」と村人は豊作を祈り
笛やたいこや三味線にあわせて、
歌いおどる。田や山、川…自然とか
わり助け合って生きてきた日本の
暮らしそのものが描かれ、子ど
もに届けたい傑作作品である。
《日本紹介映画コンクール特別賞》



ミツバチのささやき

1973年/スペイン/99分/DCP/カラー 監督: ビクトル・エリセ
小さな村にトラックに乗って映画がやってきた。上映されたの
は「フランケンシュタイン」。でも六才の少女アナにとって、フ
ランケンシュタインは人造人間ではない。精霊なのだ。、。スベ
イン、フランコ独裁政権下での人々の沈黙と希望。子どもと大
人とがいつしよに見られる、数少ない最上級の映画である。
《1973年 サン・セバスチャン国際映画祭 金の貝殻賞(グランプリ)》
©2005 Video Mercury Films S.A.

ワークショップ「アニメーション映画のおもちゃを作ろう」

～回転のぞき絵(ゾートロップ)を動かして映画のしくみを知らう～
[小中学生対象/参加費無料/定員50名/申込みTel.89-0010]
講師: 山本直美/学研教育アイ・シー・ティー

講演「語らないことの豊かさ、語れないことの深さ」

今回、私の話は「ミツバチのささやき」を見た後
に、とさせてもらいました。この映画祭の十回に
わたる収穫と合わせて、ビクトル・エリセ監督
の映画世界を、質疑応答を含めて縦横に話し
合いたいと思います。

邑の映画会顧問 映画監督 小栗康平

プロフィール

1945年前橋市生まれ。早稲田大学第二文学部演劇専修卒。81年の監
督第一回作品「泥の河」はモスクワ映画祭銀賞、米アカデミー賞外国語
映画賞ノミネートなど高い評価を受け、以後、84年「伽倻子のために」
(仏ジョルジュ・サドゥール賞)、90年「死の棘」(カンヌ映画祭グランプリ・
カンヌ1990/国際批評家連盟賞)、96年の県人口200万人記念映画
「眠る男」(モントリオール映画祭審査委員特別大賞)、05年「埋もれ木」
(カンヌ映画祭特別上映作品)、2015年日仏合作映画「FOUJITA」公
開。著書「時間をほどく」「映画を見る眼」「見ること、在ること」「哀切と痛
切」。「小栗康平コレクション」DVD単品愛蔵版「泥の河」「伽倻子のため
に」「死の棘」「眠る男」「埋もれ木」別巻「FOUJITA」(Blu-ray) (全作品
駒草出版)・著書「じっとしている唄」(白水社)発売中。



会場交通案内

東武小泉線本中野駅より徒歩5分。北関東自動車道太田・桐生I.Cより20分。

主催 □ 邑の映画会実行委員会/邑楽郡邑楽町光善寺275-2
邑楽町教育委員会

協力 □ 東京国立近代美術館フィルムセンター
(アニメーション映画全作品所蔵)

(有) ギャラリーヌン
(株) 学研教育アイ・シー・ティー
(有) 川本プロダクション
(株) エコー社
(株) アイ・ヴィー・シー

協賛 □ 館林西ロータリークラブ/朝日印刷工業(株)
高源寺/恩林寺/大信寺/加藤医院

後援 □ 邑楽町立小中学校PTA連合会/邑楽町立幼稚園
PTA連合会/邑楽町立保育園保護者会連絡協議会/風の
子保育園保護者会/邑楽町文化協会/邑楽町公民館・お
うらやうぐらや・長柄公民館・各利用団体連絡協議会
/群馬県/群馬県教育委員会/館林市教育委員会/板倉
町教育委員会/明和町教育委員会/千代田町教育委員
会/大泉町教育委員会/上毛新聞社/朝日新聞社前橋総
局/毎日新聞前橋支局/読売新聞前橋支局/産経新聞前
橋支局/東京新聞前橋支局/群馬テレビ/エフエム群馬

公式サイト □ <http://kenokuni.jp/muracinema>

